自ら創るトップの花道

「上手くいく 事業承継のコツと陥りやすい誤解」

中小企業基盤整備機構
北海道支部 事業承継コーディネータ
吉川 孝

「事業承継」「世代交代」が大きなキーワードになってきた。背景に団塊の世代の年齢上昇があることは確かだが、本当の問題は不況によって事業を「継がせたくない」「継ぎたくない」という事業の継続問題が潜んでいる面がある。今回から長期連載で、経営者の悩みに日ごろから向き合い、持ち前のパワーでアドバイスを続ける熱き専門家・吉川孝先生の講演を掲載する。

序章 引き際はカッコよく

吉川孝氏

私は税理士として独立開業し24年の歳月が過ぎました。還暦を迎える来年がちょうど節目の25周年。まさに私自身が事業承継のさなかにいます。

「65歳になる前に引退したい」と全職員の前で宣言したのが2年ほど前。当時はみんな半信半疑で「辞められるなら辞めてみろ」と言いたそうな顔をしていました。最近になって、ようやく「本当らしい」と思い始めてくれたようです。

私もますますボルテージが上がってきました。周りの人たちから感謝され、尊敬される「カッコいい事業承継」をめざして奮闘する毎日を送っています。

今回は日頃の業務で扱った事例や自分自身の経験などを交えながら、引退が目前に迫った中小企業経営者の立場で話を進めます。会社を継ぐ側の方も退く側の心境を理解する上で参考にしていただければと思います。

第一章 思い込み① 承継ためらう経営者

中小企業庁の平成21年中小企業実態調査報告書によると、法人企業のうち従業員20人以下の企業は全体の約9割。中小・零細企業が日本の産業・経済と雇用を支えている実態が明らかになっています。しかし今、経営悪化などの理由で中小企業の事業承継がなかなか進まない状況にあります。

利益計上・欠損法人統計（札幌国税局）

申告法人数	利益計上法人		欠損法人	
	事業年度数	所得金額	事業年度数	欠損金額
109,218	29,806	479,213,501	79,412	523,287,313
構成比	利益法人割合	一社当たり利益額	欠損法人割合	一社当たり欠損額
100.0%	27.3%	16,078	72.7%	-6,590

※繰り越し損失控除前の単年度黒字法人は45.3%

札幌国税局の20年度の統計によると、繰越欠損金控除後に所得のある会社は全体の3割以下。欠損法人が7割以上を占めています。単年度黒字の会社も過半数に満たないのが北海道の現状です。

私の周囲にも業況が厳しいため会社を存続させるか迷っている経営者が大勢います。「業績の良くない会社を次の世代に残していいものか」とためらう気持ちもわからなくはありませんが、地域に長く貢献してきた企業がなくなることは、従業員はもちろん、社会にとっても大きな損失です。

中小企業庁では事業承継の失敗で大事な地場の会社を失うことがないよう、平成19年度から中小企業の事業承継円滑化支援事業の一環として全国に39名の事業承継コーディネータを配置。事業承継に関するセミナーや相談などを行っています。

私が事業承継コーディネータとして全道各地で講演を行うようになって3年が経過しました。いつも思うのは「お医者さんによく似た仕事だ」ということ。多くの経営相談に対応する中で現実的なノウハウを蓄積し、皆さんにお返しするのが役目と考えています。

顧問先の中小企業の社長に「事業承継はどうしていますか」とたずねると「経営が厳しくて承継どころじゃない」と言われることがよくあります。先行きが暗いから息子に継がせるかどうか悩んでいる人も。「小さい会社だから計画的な事業承継を考えなくていい」という方もいますが、問題の本質はもっと別のところにあると思います。

事業承継は業績や規模に関係なく、どんな企業にもある課題。業況が厳しいから、会社が小さいから事業承継計画に取り組めない、必要ないというのは間違いです。こうした誤解が中小企業の事業承継を難しくする最大の原因です。

大事な事業承継を失敗すると大変なことになると理解しつつも、具体的な計画や行動については何をすれば良いかわからない方も多いと思います。わからなくて結構。どんなベテランの経営者でも会社を渡す機会は一生に一度しかありません。ノウハウがなくて当然です。

正しい認識と知識が必要

まずは事業承継そのものに対する正しい認識と知識を持つことから始めてみてはいかがでしょうか。（次号に続く）

＊ ＊

北海道暖冷房換気システム協会・新年交礼会記念講演より。今回から10回の予定で連載します。

◆お知らせ◆

中小企業基盤整備機構北海道支部では、事業承継コーディネータによる事業承継の無料相談を行っています。

■場所 札幌市中央区北2条西1丁目1-7 OREビル6階
■日時 毎週水曜日の午前9時～午後5時
■予約・連絡先（経営支援課）
☎011-210-7471・FAX011-210-7481
E-Mail hokkaido5@smrj.go.jp

北海道住宅新聞

2011年 3月15日

発行所 北海道住宅新聞社
〒001-0029 札幌市北区北29条西4-2-1-201
電話 011-736-9811
発行人 白井 康永
発行日 毎月 5・15・25日
購読料 3,150円/月（送料込）

住宅用高性能グラスウール SUN 太陽

北海道認定リサイクル製品
NITTOBO TOGAN ISO14001 認証
ニットーボー東岩株式会社
営業部 Tel. 011-590-8800
http://www.nittobotogan.jp/

ピックアップ

一般紙の紙面を飾ることができるか？
記事になる取り組みとは。実例から考える。
（7面）

グラスウールだから ずーっと安心品質

1. 組合規定の施工品質管理を実施しています。
2. 品質証明書(施工完了証明書)を発行しています。
3. グラスウールは経年沈下が少ない。
4. 安定型廃棄物です。
5. 施工現場でのほこりの発生が少ない。

健康と地球環境に貢献する グラスウール吹込み工法の技術集団。

北海道ブローイング断熱工事業協同組合

㈱インシュレーション	（札幌）	☎011-783-3351	㈱ダンネツ	（旭川）	☎0166-62-7575
	（旭川）	☎0166-47-5236		（北見）	☎0157-36-3557
	（北見）	☎0157-56-2044		（釧路）	☎0154-36-1790
	（帯広）	☎0155-37-4230		（帯広）	☎0155-41-4101
	（釧路）	☎0154-52-5651		（札幌）	☎011-875-3966
	（苫小牧）	☎011-783-3349	㈱タケベ	（江別）	☎011-387-4051
	（函館）	☎0138-45-4418	㈱ニチダン旭川	（旭川）	☎0166-36-4570
㈲ウォーム総合断熱	（滝川）	☎0125-24-4420		（名寄）	☎01654-3-6405
帯広断熱㈱	（帯広）	☎0155-25-8881	㈱ニチダン	（札幌）	☎011-782-8000
帯広ホームインサル㈱	（帯広）	☎0155-34-1722	日高ホームインサル㈱	（浦河）	☎01462-2-4423
	（別海）	☎0153-75-3650	㈱ピコイ函館	（函館）	☎0138-51-6471
三東商事㈱	（砂川）	☎0125-54-1311	㈲ホクダン	（東神楽）	☎0166-83-3636
札幌断熱㈱	（札幌）	☎011-763-4177	㈲細川工務店	（湧別）	☎01586-2-2650
シール断熱	（名寄）	☎01654-2-3348	㈲マトリックス	（帯広）	☎0155-41-7866
㈱ダンネツ	（本社）	☎0166-61-9151	室蘭ホームインサル㈱	（室蘭）	☎0143-45-1141

事務局 札幌市東区北20条東2丁目2-11 ☎ 011-214-0872 Fax.011-214-0900